

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 1)

(11) 特許番号

特許第3122658号
(P3122658)

(45) 発行日 平成13年1月9日(2001.1.9)

(24) 登録日 平成12年10月20日(2000.10.20)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

C 0 1 G 23/047

C 0 1 G 23/047

請求項の数 8 (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平11-224190

(22) 出願日 平成11年8月6日(1999.8.6)

審査請求日 平成11年8月9日(1999.8.9)

(73) 特許権者 590003722

佐賀県

佐賀県佐賀市内1丁目1-59

(72) 発明者 一ノ瀬 弘道

佐賀県杵島郡有明町大字田野上1516

(74) 代理人 100091971

弁理士 米澤 明 (外7名)

審査官 大工原 大二

(56) 参考文献 特開 平9-71418 (J P , A)

特開 平9-221324 (J P , A)

特開 平10-167728 (J P , A)

特開 昭62-252319 (J P , A)

(58) 調査した分野(Int.Cl.⁷ , D B名)

C01G 23/047

C A (S T N)

(54) 【発明の名称】 チタン酸化物形成用溶液およびその製造方法

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 チタン酸化物形成用溶液において、金属チタン、チタン酸化物、もしくはチタン水和物からなる固体状チタン化合物に、チタンの量に対して過剰の水酸基を有する塩基性物質を加え、さらに過酸化水素水を加えて溶液化したものであり、溶液中のチタンイオン、チタン含有イオンおよび水素イオン以外の陽イオン濃度がチタンの濃度の1/2以下であることを特徴とするチタン酸化物形成用溶液。

【請求項2】 チタン酸化物形成用溶液の製造方法において、金属チタン、チタン酸化物、もしくはチタン水和物からなる固体状チタン化合物に、チタンの量に対して過剰の水酸基を有する塩基性物質を加え、さらに過酸化水素水を加えて生成した溶液中のチタンイオン、チタン含有イオンおよび水素イオン以外の陽イオンの除去と過

2

剰の過酸化水素水の分解工程を、溶液のpHを3~10に保持した状態で複数回行うことを特徴とするチタン酸化物形成用溶液の製造方法。

【請求項3】 固体状チタン化合物が、チタン化合物に塩基性物質を加えて生成するチタン水和物であることを特徴とする請求項2記載のチタン酸化物形成用溶液の製造方法。

【請求項4】 チタン水和物が、チタンの量に対して2倍以上の水酸基量の塩基性物質を添加することによって調製したものであることを特徴とする請求項3記載のチタン酸化物形成用溶液の製造方法。

【請求項5】 チタン酸化物形成用溶液の製造方法において、金属チタン、チタン酸化物、もしくはチタン水和物からなる固体状チタン化合物に、チタンの量に対して過剰の水酸基を有する塩基性物質を加え、さらに過酸化